

『抗菌薬の供給不足が及ぼす当院の抗菌薬使用動向と 感染症治療への影響について』

【目的】2019年、セファゾリンの供給停止を契機に、多くの抗菌薬が連鎖的に限定出荷となり、臨床現場での感染症治療は非常に困難に直面しています。この背景には薬価引き下げ、抗菌薬市場の縮小、交差汚染防止、製造コスト高騰などの要因が影響していると考えられています。当院においても各種抗菌薬が限定出荷や一時出荷停止に見まわれました。そこで、抗菌薬の供給不足が当院の抗菌薬使用動向および感染症治療に影響を及ぼしたか否かを検証しました。

【期間】2023年10月1日～2026年3月31日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

調査は2022年4月～2023年9月までの経緯を検証しました。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：診療録より過去にさかのぼり調査します。

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院
〒639-1013 奈良県大和郡山市朝日町 1-62
TEL (0743) 53-1111 (代)

所属・職名 薬剤部・薬剤師
研究責任者 植田 徹